

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより

第8号 令和2年5月29日（金）

たきおっ子の生活信条：

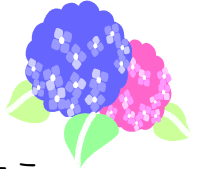
「たのしく、きたえて、おおらかに」

学級数7、在籍児童数：56名

文責：（校長）河地浩太郎

いよいよ学校再開！

5月7日の臨時休業延長の日から25日が過ぎ、6月1日に、ようやく学校が再開できるようになりました。本年度になってから2カ月後になります。ふだんとは違った生活が日常となりつつあり、通常の学校生活のリズムにもどるには、もう少し時間がかかるかもしれません。それでも、再開できた喜びを感じるとともに、非日常的な生活が日常の生活にもどるよう、滝尾っ子みんなできちんと取り組んでいきたいと思っています。



滝尾小学校で身につけさせたい力①（思いやりの心）

P T A 総会資料の中に綴じていました、本年度の学校経営全体計画に示していましたが、子どもたちに身に付けさせたい力の一つとして、「思いやりの心（他者意識）」があります。右の作文は、四年生の児童が、「今週のニュース」ということで書いた短い作文ですが、その優しい心に感じました。滝尾小の子どもたちが、このような心持をたくさん持てるよう取り組んでいきたいと思っています。

う言が（り手れり たあきし はかまいり
ねっーひ担しをるーお日ちまに五
てよい任ま合とがはでやしは月四年
くくお）しわ思いかすんたか十年
れ来ば たせいてに が。ま日藤岡
ただあ てま守 なひいに
でねち おしっー くいり、凌
しーや またてや なばに水雅
よとん い。くも つあ行こ

学校における感染症予防対策 ※別紙配布



来週からいよいよ学校が再開しますが、本日、滝尾小の感染症予防対策について、別紙でお知らせしました。その取組の一つが、左の写真のような、手洗いの時の間隔を開ける、「足型マーク」です。養護の上古閑先生の発案です。これで「密接」を避けることができそうです。

水筒の持参について ※別紙通知配布

朝夕はさほどではありませんが、日中はだいぶ気温が高くなってきました。マスクをしても少し息苦しさを感じます。熱中症の予防のために水筒を持参しても結構です。詳細はプリントをご覧ください。



シリーズ滝尾の歴史⑦ 「本庄源八墓碑」

「横野地区共同墓地の西端に建つ。本庄源八については、明治維新後に横野村に在宅したと思われるが居宅が何処であったかは詳らない。明治10年（1877年）の西南戦争に、薩摩軍に味方した熊本隊士で御船辺田見の戦いで戦死したと伝えられる。（墓碑には「明治十年」「旧 三月七日、三十七才、本庄源八」と刻まれている。）」（欽田）滝尾の文化財・史跡から）御船町は、西南戦争の戦いの場になりましたが、この滝尾にも関わりのある人がいました。当時はどのような様子だったのだと思います。



NIE（教育に新聞を）の取組

※4社の新聞を4ヶ月間提供されます。

5月は、「熊日（朝・夕）」「朝日」「西日本」「読売」の四社の新聞を、毎日提供していただきました。読み比べると、それぞれよさや楽しさが見られます。新聞という文字（漢字）が多く、ちょっと抵抗がありますが、中には、子どもたちが興味を持って読めるようなものもあります。これから少しずつ、学習に取り入れていきます。写真（左から）【一斉下校時での新聞の紹介】【図書室の新聞スタンド】【廊下の新聞コーナー（4か所）】



ありがとうございました。
滝尾・水越地区の民生・児童委員の皆さん（五名）には、子どもたちも元気な姿がでました。

